

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	
設置者名	

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
		夜・通信						
		夜・通信						
		夜・通信						
		夜・通信						
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

--

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	長野県農業大学校
設置者名	長野県

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
農学部	総合農学科 農業経営コース	夜・通信	600 単位時間	160 単位時間	
	総合農学科 実践経営者コース	夜・通信	1,050 単位時間	160 単位時間	
	果樹実科	夜・通信	5 単位	3 単位	
	野菜・花き実科	夜・通信	5 単位	3 単位	
	畜産実科	夜・通信	10 単位	3 単位	
	南信農業実科	夜・通信	5.5 単位	3 単位	
	果樹研究科	夜・通信	4 単位	3 単位	
	野菜・花き研究科	夜・通信	5 単位	3 単位	
	畜産研究科	夜・通信	10 単位	3 単位	
	南信農業研究科	夜・通信	3.5 単位	3 単位	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

農業大学校のホームページに掲載 https://www.pref.nagano.lg.jp/nogyodai/shokai/index.html
--

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名：
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	
設置者名	

1. 理事（役員）名簿の公表方法

--

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
(備考)			

様式第2号の2-②【(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置】

※ 様式第2号の2-①に掲げる法人以外の設置者（公益財団法人、公益社団法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

学校名	長野県農業大学校
設置者名	長野県知事 阿部 守一

1. 大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

名称	学校関係者による外部評価
役割	・教育課程、カリキュラム編成、学生の進路指導、学校評価などについて外部の学校関係者から意見を徴取し、重点目標や評価項目に反映させることで更なる改善に取り組み、より良い大学校運営を行う。

2. 外部人材である構成員の一覧表

前職又は現職	任期	備考（学校と関連する経歴等）
保護者代表	2019.4.1～ 2020.3.31	
同窓会代表	2019.4.1～ 2020.3.31	
農業高等学校長	2019.4.1～ 2020.3.31	
長野県農業経営者協会 代表	2019.4.1～ 2020.3.31	
農業団体	2019.4.1～ 2020.3.31	
(備考)		

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	長野県農業大学校
設置者名	長野県

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 授業計画(シラバス)については、毎年12月から外部講師の選定を行い、あわせて学科目ごとの内容確認、見直しを実施。 授業計画作成時期：12月から2月 授業計画公表時期：4月 「平成31年度授業計画」に記載し、農業大学校において閲覧に供している。 また、農業大学校ホームページでも授業計画を公表する。</p>	
授業計画書の公表方法	<p>農業大学校において閲覧に供する。 農業大学校ホームページで公表 https://www.pref.nagano.lg.jp/nogyodai/shokai/index.html</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 長野県農業大学校細則及び長野県農業大学校単位修得等の認定に関する規程、長野県農業大学校成績評価の取扱に関する内規に基づき客観的な指標を設定し、成績評価を行う。 各学生の学修成果に基づき、あらかじめ設定した成績評価の方法・基準により、厳格かつ適正に単位授与又は履修認定を実施。 1学年は入学式終了後、2学年は進級前に選択学科目等の学修意欲の確認を行い、学修成果は前期、後期、通年それぞれの学科目ごとに試験やレポートにより修学度を評価する。 毎年度2月には校長(実科・研究科は科長)以下教務職員による成績判定会議を開催し、学生の成績評価と単位取得を認定している。</p>	
<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) あらかじめ設定した算出方法により、GPA等の数値を算出している。 履修科目の成績評価を点数化し、全科目の合計点の平均を算出(100点満点で点数化)し、成績の分布状況を把握。</p>	

客観的な指標の算出方法の公表方法	農業大学校ホームページで公表 https://www.pref.nagano.lg.jp/nogyodai/shokai/index.html
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>理論と実技を同時に学ぶ実践型の教育により農業技術の高度化・経営の専門化に対応する知識、技術を修得し、自らの目標やテーマを定めて行う模擬経営・プロジェクト学習並びに寮生活等により他者との協調・自己の確立等の社会性を涵養し、次代の農業・農村を担う優れた人材となりうる力を身につけた者に卒業を認定する。</p> <p>長野県農業大学校細則及び長野県農業大学校単位修得等の認定に関する規程、長野県農業大学校成績評価の取扱いに関する内規に基づき、単位及び卒業認定を実施している。</p> <p>総合農学科 1 学年が進級に必要な単位数を1, 200時間、2年間で卒業に必要な単位数を2, 400時間と定め、2月の成績判定会議において認定することとしている。</p> <p>実科・研究科 卒業までに必要な単位数は、 果樹実科 47単位 (講義・演習20単位、実験・実習27単位) 果樹研究科 47単位 (講義・演習20単位、実験・実習27単位) 野菜花き実科 47単位 (講義・演習20単位、実験・実習27単位) 野菜花き研究科 47単位 (講義・演習20単位、実験・実習27単位) 畜産実科 51単位 (講義・演習19単位、実験・実習32単位) 畜産研究科 49単位 (講義・演習19単位、実験・実習30単位) 南信農業実科 47単位 (講義・演習20単位、実験・実習27単位) 南信農業研究科 47単位 (講義・演習20単位、実験・実習27単位) と定め、成績判定会議において認定することとしている。</p>	
卒業の認定に関する方針の公表方法	農業大学校ホームページで公表 https://www.pref.nagano.lg.jp/nogyodai/shokai/index.html

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	
設置者名	

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	
収支計算書又は損益計算書	
財産目録	
事業報告書	
監事による監査報告(書)	

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	
中長期計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法:

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法:

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名
教育研究上の目的（公表方法： ） （概要）
卒業の認定に関する方針（公表方法： ） （概要）
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法： ） （概要）
入学者の受入れに関する方針（公表方法： ） （概要）

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	人	—					人
	—	人	人	人	人	人	人
	—	人	人	人	人	人	人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長			学長・副学長以外の教員				計
人			人				人
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)			公表方法：				
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
	人	人	%	人	人	%	人	人
	人	人	%	人	人	%	人	人
合計	人	人	%	人	人	%	人	人
(備考)								

b. 卒業者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要)

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要)				
学部名	学科名	卒業に必要なとなる 単位数	G P A制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
		単位	有・無	単位
		単位	有・無	単位
		単位	有・無	単位
		単位	有・無	単位
G P Aの活用状況（任意記載事項）		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
		円	円	円	
		円	円	円	
		円	円	円	
		円	円	円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組 (概要)
b. 進路選択に係る支援に関する取組 (概要)
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組 (概要)

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	長野県農業大学校
設置者名	長野県知事 阿部 守一

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	
収支計算書又は損益計算書	
財産目録	
事業報告書	
監事による監査報告（書）	

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
農業		農学部	総合農学科 実践経営者コース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2,400 単位時間/単位	645 単位時間	570 単位時間	2,430 単位時間	単位時間	単位時間
			3,645単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
20人		7人	0人	20人	51人	71人	

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
農業		農学部	総合農学科 農業経営コース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2,400 単位時間/単位	975 単位時間	585 単位時間	1,395 単位時間	単位時間	単位時間
			2,955単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		70人	0人	20人	51人	71人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）			
<p>（概要）</p> <p>実践経営者コースは、卒業後の企業的農業経営に向けた知識や技術の習得を目的とし、先進農業者や大学教授等各分野の第一人者を外部講師に迎え実践的な講義及び先進農業者の元での農業実習を実施する。</p> <p>農業経営コースは、就農及び農業関連産業への就職に向けた幅広い知識や技術の習得を目的とし、作物・果樹・野菜・花きの各専攻制による専門的かつ幅広い知識や技術を習得する。また、学生自らがテーマを定めるプロジェクト学習等により農業経営の理念と実際を習得する。</p> <p>毎年12月から外部講師の選定を行い、あわせて学科目ごとの授業計画書（シラバス）の内容確認・見直しを行っている。刊行物として発行し、農業大学校内で閲覧に供している。</p>			
成績評価の基準・方法			
<p>（概要）</p> <p>長野県農業大学校細則及び長野県農業大学校単位修得等の認定に関する規程、長野県農業大学校成績評価の取扱に関する内規に基づき客観的な指標を設定し、成績評価を行う。</p> <p>1学年は入学式終了後、2学年は進級前に選択学科目等の学修意欲の確認を行い、学修成果は前期、後期、通年それぞれの学科目ごとに試験やレポートにより修学度を評価する。</p> <p>毎年度2月には校長以下教務職員による成績判定会議を開催し、学生の成績評価と単位取得を認定している。</p>			
卒業・進級の認定基準			
<p>（概要）</p> <p>1学年が進級に必要な習得単位時間を1,200時間、2年間で卒業に必要な修得単位時間を2,400時間と定め、2月の成績判定会議において認定することとしている。</p>			
学修支援等			
<p>（概要）</p> <p>長野県農業大学校条例による授業料の減免及び分納</p> <p>生活保護世帯、市町村民税非課税世帯、都道府県民税及び市町村民税所得割の合算額85,500円未満世帯等を申請により減免</p> <p>年1回納付となっている授業料を申請により年2回に分けて納付</p>			

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
37人 (100%)	1人 (2.7%)	36人 (97.3%)	人 (%)
<p>（主な就職、業界等）</p> <p>独立自営就農、親元就農、農業法人、JA、農業関連企業、地方公務員など</p>			
<p>（就職指導内容）</p> <p>1学年後期より就職のための特別教養講座を開催、同時にJA職員採用計画等求人情報の提供、各業界担当者との情報交換、学生への情報提供を行う。</p>			

<p>(主な学修成果 (資格・検定等))</p> <p>大型特殊免許(限定)、けん引(限定)、毒物劇物取扱者、危険物取扱者、農業簿記検定、農業技術検定、土壤医検定、車両系建設機械、フォークリフト、クレーン・玉掛け、ガス溶接、アーク溶接、高所作業車、伐木等業務(チェーンソー)</p> <p>(備考) (任意記載事項)</p>

中途退学の現状		
30年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
80 人	2人	2.5%
<p>(中途退学の主な理由)</p> <p>集団生活に馴染めない。</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組)</p> <p>入学試験(個別面接)において適正判断 入学後はカウンセラーによるカウンセリング実施</p>		

① 学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士	
農業		農学部	実科 (果樹)			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類			
			講義	演習	実習	実験
1年	昼	47単位	20単位	単位	27単位	単位
			単位時間			
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
50人※		16人	0人	2人	50人	52人

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士	
農業		農学部	実科 (野菜・花き)			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類			
			講義	演習	実習	実験
1年	昼	47単位	20単位	単位	27単位	単位
			単位時間			
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
50人※		2人	0人	1人	49人	50人

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士	
農業		農学部	実科 (畜産)			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類			
			講義	演習	実習	実験
1年	昼	51単位	19単位	単位	32単位	単位
			単位時間			
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
50人※		12人	0人	2人	26人	28人

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士	
農業		農学部	実科 (南信農業)			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総 単位数	開設している授業の種類			
			講義	演習	実習	実験
1年	昼	47単位	20単位	単位	27単位	単位
			単位時間			
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
50人※		3人	0人	1人	13人	14人

※実科の生徒総定員数は果樹、野菜・花き、畜産、南信農業を全て含めて50人とする。

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士	
農業		農学部	研究科 (果樹)			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総 単位数	開設している授業の種類			
			講義	演習	実習	実験
1年	昼	47単位	20単位	単位	27単位	単位
			単位時間			
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
50人※		8人	0人	2人	50人	52人

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士	
農業		農学部	研究科 (野菜・花き)			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総 単位数	開設している授業の種類			
			講義	演習	実習	実験
1年	昼	47単位	20単位	単位	27単位	単位
			単位時間			
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
50人※		1人	0人	1人	49人	50人

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
農業		農学部	研究科 (畜産)				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1年	昼	49単位	19単位	単位	30単位	単位	単位
	単位時間						
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
50人※		2人	0人	2人	26人	28人	

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
農業		農学部	研究科 (南信農業)				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1年	昼	47単位	20単位	単位	27単位	単位	単位
	単位時間						
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
50人※		0人	0人	3人	138人	141人	

※研究科の生徒総定員数は果樹、野菜・花き、畜産、南信農業を全て含めて50人とする。

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
<p>(概要)</p> <p>各試験場(果樹、野菜・花き、畜産、南信農業)において、研究員及び職員を教員の中心に充実した実習カリキュラムにより、知識と技術を身につけ、農業の即戦力となる人材の養成を目的とし、実科では、基礎的な知識及び技術の習得し、研究科では、専攻研究を行い、高度で先進的な知識と技術を習得する。</p> <p>毎年12月から学科目ごとの授業計画書(シラバス)の内容確認・見直しを行っている。印刷物として発行し、農業大学校内で閲覧に供している。</p>
<p>成績評価の基準・方法</p> <p>(概要)</p> <p>入学式終了後に学修意欲の確認を行い、学修成果は前期、後期、通年それぞれの学科目ごとに試験やレポートにより修学度を評価する。</p> <p>毎年度2月には学科長以下指導職員による成績判定会議を開催し、学生の成績評価と単位取得を認定している。</p>
<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>(概要)</p> <p>卒業に必要な単位修得数を47単位(畜産実科51単位、畜産研究科49単位)と定め、2月の成績判定会議において認定することとしている。</p>

学修支援等 (概要) 長野県農業大学校条例による授業料の減免及び分納 生活保護世帯、市町村民税非課税世帯、都道府県民税及び市町村民税所得割の合算額 85,500円未満世帯等を申請により減免 年1回納付となっている授業料を申請により年2回に分けて納付

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
40人 (100%)	12人 (30.0%)	28人 (70.0%)	人 (%)
(主な就職、業界等) 親元就農、農業法人など			
(就職指導内容) 農業法人等の学生への情報提供			
(主な学修成果(資格・検定等)) 大型特殊免許(限定)、車両系建設機械運転技能、フォークリフト運転技能、けん引(限定)、 毒物劇物取扱者、危険物取扱者、家畜人工授精師			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
30年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
40人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 入学試験(個別面接)において適正判断 入学後はカウンセラーによるカウンセリング実施		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
総合農学科実践経営者コース	5,650 円	118,800 円	610,000 円	教材実習費、教科書・資格試験・現地研修・食費等
総合農学科農業経営コース	5,650 円	118,800 円	780,000 円	教材実習費、教科書・資格試験・現地研修・食費等
果樹実科	5,650 円	42,000 円	450,000 円	教材費、各種試験受験料、研修旅行積立等
野菜・花き実科	5,650 円	42,000 円	270,000 円	教材費、各種試験受験料、研修旅行積立等
畜産実科	5,650 円	42,000 円	340,000 円	教材費、各種試験受験料、研修旅行積立等
南信農業実科	5,650 円	42,000 円	250,000 円	教材費、各種試験受験料、研修旅行積立等
果樹研究科	5,650 円	42,000 円	450,000 円	教材費、各種試験受験料、研修旅行積立等
野菜・花き研究科	5,650 円	42,000 円	270,000 円	教材費、各種試験受験料、研修旅行積立等
畜産研究科	5,650 円	42,000 円	340,000 円	教材費、各種試験受験料、研修旅行積立等
南信農業研究科	5,650 円	42,000 円	250,000 円	教材費、各種試験受験料、研修旅行積立等
修学支援 (任意記載事項)				
長野県農業大学校条例による授業料の減免及び分納 生活保護世帯、市町村民税非課税世帯、都道府県民税及び市町村民税所得割の合算額85,500円未満世帯等を申請により減免 年1回納付となっている授業料を申請により年2回に分けて納付				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.pref.nagano.lg.jp/nogyodai/shokai/gaiyo/hyoka.html
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)
○学校評価の実施 大学校は、学校運営の改善に資するため、大学校の運営状況について内部評価運営委員会 (大学校職員で構成) が自ら評価 (以下「内部評価」という。) し、その結果を基に学校関係者 (保護者、卒業生、農家、学識経験者等) が評価 (以下「外部評価」という。) するものとする。 ○実施方法等 1 大学校評価システムの基本姿勢

- (1) 大学校は、この評価システムにより、大学校の現状と課題を再確認し、職員、学生、保護者並びに関係者が一体となって、より良い大学校づくりに取り組むものとする。
 - (2) 大学校評価システムは、内部評価運営委員会が内部評価し、その結果を基に学校関係者による外部評価を受けることを基本とする。
- ## 2 大学校評価の推進組織の整備
- (1) 内部評価運営委員会の設置
校長は、大学校評価システムの運営を行うとともに、外部評価結果に伴う改善・更新を推進するため、大学校内に、校長及び校長が指定した者からなる 内部評価運営委員会を設置するものとする。
 - (2) 学校関係者による外部評価
校長は、当該年度の達成状況に関して、意見交換を通じて評価を行い、大学校の 自律的改善を図るため、校長が依頼した者（保護者、卒業生、農業高校、農業者、学識経験者等）から評価を徴取する。
- ## 3 重点目標、評価項目の決定
- 校長は学校教育目標、重点目標、当該年度の評価項目、評価の観点を決定し、大校校評価表に必要事項を記載するものとする。
- ## 4 評価等の実施
- 大学校は、該年度の達成目標である評価項目についての達成状況を内部評価し、年度末までにその結果を踏まえた外部評価を通じて、大学校評価を行うものとする。
- ## 5 評価結果の活用
- 校長は、上記4の評価結果をもとに、当該年度の成果と改善すべき課題を分析し、次年度以降の重点目標や評価項目等に反映させるほか、更なる改善に生かすものとする。
- ## ○ 重点目標、評価項目重点目標、評価項目等及び評価結果の公表目等及び評価結果の公表
- 1 重点目標、評価項目等の公表
大学校は、重点目標、評価項目等を決定したときは、必要事項を記載した評価表やその他の資料により速やかに公表するものとする。
 - 2 評価結果の公表
大学校は、内部評価結果及び外部評価結果を速やかに公表するものとする。この場合において、当該年度の評価結果を、その次年度の早い時期に、次年度の重点目標、評価項目等と併せて公表するものとする。
 - 3 公表の方法
重点目標、評価項目等及び評価結果の公表は、保護者や農業関係者、関係機関等に広く伝えることができるよう、大学校のホームページへの掲載など適切な方法で行うものとする。
- ## ○ 実施上の注意事項
- 1 校長は、大学校評価システムの趣旨等について、職員の共通理解が得られるよう努めるものとする。
 - 2 評価項目及び具体的方策は、重点目標に対する大学校の現状と課題を整理し、具体的で分かりやすく設定するものとする。
 - 3 評価指標は、成果を評価できるよう、具体的で分かりやすく設定するものとする。
 - 4 評価結果の公表に当たっては、その内容・表現等について必要な配慮を行うとともに、個人情報の取扱に十分注意する。情報の取扱に十分注意する。

学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
保護者 代表	2019. 4. 1～2020. 3. 31	保護者代表
同窓会 代表	2019. 4. 1～2020. 3. 31	卒業生代表
農業高等学校長	2019. 4. 1～2020. 3. 31	農業高校代表
長野県農業経営者協会 代表	2019. 4. 1～2020. 3. 31	農業者代表
農業団体	2019. 4. 1～2020. 3. 31	学識経験者
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.pref.nagano.lg.jp/nogyodai/shokai/gaiyo/hyoka.html		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.pref.nagano.lg.jp/nogyodai/index.html
--